

令和 2 年度

1 自己評価及び外部評価結果

事業所名 : JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0390500296		
法人名	花巻農業協同組合		
事業所名	JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき		
所在地	〒025-0132 岩手県花巻市北笹間13-71		
自己評価作成日	令和2年9月23日	評価結果市町村受理日	令和2年12月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

のどかな田園地帯の農協敷地内に開所3年となりました。入居者様が家庭の延長のようにゆったりとくつろぎ、役割をもって張り合いのある生活を送ることができるよう、又、入居者様とご家族様のご希望に沿うために必要な支援について、随時意見を出し合って検討を行っています。戸外での活動は、敷地内の畑で取れる作物の収穫や施設周辺の散歩のほか、地域にぎわいの場である道の駅が開所したので、今後は地域住民の方々との交流の場としても活用していきたいと考えています。そのほか、床の材質や角に緩衝材を使用する等入居者様の安全確保に配慮しています。看護師の常駐はありませんが、訪問看護による看護師の確保と24時間連絡可能な体制が取れ、近隣の個人医の協力を得て、非常時の対応ができるようにしています。JA内部の研修への参加や施設内の勉強会を実施し、職員個々のスキルアップとチームケアの向上を図っています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/03/index.php?action\\_kouhyou](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/03/index.php?action_kouhyou)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援研究会
所在地	〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通2丁目4番16号
訪問調査日	令和2年10月13日

花巻市の西方にあって、田畑が広がる田園地帯に位置する開設3年目の事業所である。敷地内に菜園があり野菜や花を育て、野菜を収穫する楽しみを味わっている。運営主体のJAIわて花巻では高齢者福祉事業の理念を「思いの花、咲かせます」とし、事業所では「目くばり、気くばり、思いやり」を理念に掲げ、職員は利用者を尊重し穏やかで豊かな生活を共に送っている。協力医や訪問看護ステーション等、医療・看護と連携し利用者が健康面でも安心して暮らせるよう努めている。例年は「とどろき喫茶」を開催し地域住民や学童クラブ、近隣中学校との交流を進めているが、今年はコロナ禍のため制限されている。今後は状況に応じ面会・外出・交流が可能となるよう、職員が一丸となって取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JALいわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所やホールの目につくところに理念を掲げ、常に意識し実践につなげられるようにしています。定例会や勉強会で確認し意識の共有を図っています。	理念「目くばり・気くばり・思いやり」は開所時、職員で話し合い制定した。運営主体の農業協同組合は、今年「思いの花、咲かせます」と定め、事業所では毎朝唱和し共有化に努め日々のケアに繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流を今年度の目標にしていますが、新型コロナウイルス感染防止の為、活動を自粛しています。地域の婦人部の方々がプランターに花を植えて下さり、その後入居者の方々が水やりや咲いた花を鑑賞させていただきました。	昨年は、地域行事への参加や中学校吹奏楽部の来所などがあり、今年は、とどろき喫茶、中学生や学童クラブとの交流などを計画したが、コロナ禍のため自粛している。地元婦人部の方がプランターに花を植えてくださった。	運営主体が地元農協とのこともあり、運営推進会議委員を始めとする地域の方々との理解・協力を得られています。今後、予定していた諸団体との交流を計画的に実施すると共に、自治会への加入を検討し、地域の一員としての繋がりを強められることを期待します。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、活動を計画することができませんでした。地域交流の場を職員が利用したり、入居者様の食事・食材を地域から購入する際、入居者様の状況等をお伝えしています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催し、会議で出された意見は定例会等で職員に伝え必要な点は話し合いを行っています。	運営推進会議委員は、区長、民生委員、地区代表、地域包括支援センターと家族代表で構成され、全員が身体拘束適正化委員を兼ねている。コロナ禍のため会議はホーム外で行い、新型コロナウイルス対策等について活発な意見が出され、利用者の感染対策等の健康管理に繋げている。	開所3年目を迎え、地域の期待が一層高まっていると思われます。多方面からの理解と協力を得ながら、運営の充実を図るためにも、予め会議のテーマを設定し、それに関連する機関(消防、警察、学校等)の会議への参加について検討されることを期待します。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の長寿福祉課や地域福祉課に相談したり、包括支援センターと情報の交換を行っています。	各種の手続きに際し、窓口で担当者と相談し、行政情報等を得るなどの協力関係が出来ている。特に地域包括支援センターからは、各種研修会等の案内を頂き、また、空室が生じた際には相互に情報交換するなど、緊密な連携を図っている。		

令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会に参加したり、勉強会で身体拘束にあたる行為を確認し、身体拘束をしないケアを行っています。危険回避の為、センサーマットを使用している方がいますがご家族の同意を得ています。玄関は事務所に職員がいない場合は施錠することがあります。	身体拘束適正化委員会の委員を運営推進会議の委員が兼ね、指針も定めている。職員全員が理解を深めることが出来るよう、参加した外部研修会の資料を内部研修会で活用し周知を図っている。言葉による行動抑制を含め、気になる時は職員相互に注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	JA内部の研修や施設内の勉強会において虐待防止について学び、職員間で声を掛け合って防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度と活用について理解している職員は少ないので、今後勉強会等で学ぶ機会を設ける予定です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明した際、理解していただけたか確認し、同意を得て契約を締結しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今年度は感染症拡大防止の為、家族会を開催することができていませんが、月1回の通信や季刊通信により入居者様のご様子をお伝えしています。面会や電話等により、ご家族様から要望があれば対応しています。	感染症対策のため、開所以来毎年3回開催してきた家族会を開催できないでいる。毎月の便りや季刊の通信でホームでの利用者の様子を家族に伝えている。家族からは「体操をしてほしい」「小上がりで休ませて」などの要望が寄せられ、応えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の定例会の他、毎日の申し送り等、意見を伝える機会があり、反映されています。	毎日の申し送り時や毎月の定例会に加え、年3回管理者が個別面談を行い職員の意見、提案を把握している。職員は、申し送りノートにも意見等を記入し、全員が目を通し確認し合っている。職員の提案により、役割や分担の変更を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	随時、面談機会があり、職員数の確保による労働環境の改善がなされていますが、職員個々の労働条件が異なり、労働時間にはばらつきがあります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の力量に合った研修会に参加したり、ケアの現場で説明、指導がなされています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在、外部研修等交流の機会を設けることができません。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時のアセスメントや聞き取りにより要望を把握し、安心できる環境と関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時の聞き取りにより、ご家族様の不安や困っていること、要望を把握しお互いに協力できる関係づくりに努めています。薬や衛生用品を届けていただく際、要望等をお伺いしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	特に必要としている支援は何かを見極められるよう、ご家族様やサービス事業所から情報をいただいています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様のできない部分を支援し、できることは行っていただくことで支え合う関係づくりができています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	居室担当やケアマネジャーより、ご家族様に身体状況や生活の様子を随時お伝えし、共に支えていく関係が築けています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、面会制限がありますが、自宅近くの美容院利用を続けていらっしゃる方がいます。家に帰りたいとの言葉はあまり聞かれず、入居者様にとっては施設自体が普段暮らすなじみの場所となりつつあります。	本人や家族の話、生活歴から馴染みの人や場所を把握している。家族や友人が面会に来所した際には、談話室を利用してもらっている。馴染みの美容院へ出かける方もいるが、多くは定期的に来所する理美容師を利用し、新たな馴染みとなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの生活状況や相性を考慮し、席の配置を決めたり、入居者様同士の会話が続くように間を取り持つ等調整しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方のご家族様と電話連絡を取り経過を確認したり、退去された方のご自宅を訪問し相談に応じる等関係性の維持に努めています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居様の意向を傾聴、または行動を観察し、想いの把握に努め、各職員が気付いたことを情報として共有し、入居者様本位の支援ができるようにしています。	殆どの利用者が言葉で思いや意向を伝えることが出来るが、言葉に出来ない方からは表情や仕草から思いを汲み取る様に努め、職員はどの利用者も自分らしい生き方を叶えることが出来るよう努めている。把握した家族の思いも申し送りノートに記入し、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活歴やサービス利用状況を確認し、職員間で情報の共有ができるようにしています。その情報をもとに入所後の会話の幅を広げることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の日々の変化に気付くよう努め、職員間で情報を共有しています。		

令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに基づきモニタリングを行い、必要に応じて随時カンファレンスを行い、プランの見直しを行っています。	職員はケアプランの視点から利用者の日々の様子を確認し記録している。通常は3か月ごとにモニタリングを行い、6か月毎に見直しをしている。担当職員を加えたカンファレンスで、主治医の助言や家族からの情報を加味した計画としている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活状況はタブレットで記録し、気づきや情報共有が必要なことに関しては主に申し送りノートに記入しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに応じて対応可能な支援には取り組むよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今年度は地域の婦人部の方々から衛生用品の寄贈とプランターへの花の植込みの支援をいただきました。地域交流の施設から食材や食品を購入したことがありました。運営推進会議には地域の区長、民生委員の代表者の方に出席していただき地域として意見をいただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族様の意向に沿えるよう事業所として受診支援を行っており、健康状態を維持できるよう努めています。	2名は家族同行で入居前からのかかりつけ医を受診し、状態を医師に説明できるよう職員が情報提供している。協力医を受診する場合には、職員が同行し結果を「通院・受診記録」に記入している。訪問歯科医が定期的に来所している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護を利用し、健康状態についてアドバイスをいただき、必要であれば、受診や治療につなげています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先の医療相談室と情報の交換を行っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の契約時に重度化対応の指針について説明し、状態に応じてご家族と再度相談して対応していくことにしています。地域の協力医や訪問看護ステーションと医療連携の契約を結んでいます。	利用開始時に、重度化対応指針を説明し同意を得ている。終末期には家族の意向を確認し意向に沿った支援に努めている。協力医や訪問看護師との連携体制は整っている。これまで看取りを行ったことはなく、事業所として、看取り介護に関する研修を重ねながら、チームで取り組める体制づくりを検討していきたいとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルは作成済みで、応急手当ての訓練は施設内の勉強会で取り組む予定です。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練を予定しています。日中は同敷地内の農協職員の協力を得る体制となっています。	火災を想定し消防署立ち合いで避難訓練を実施し、今後は夜間想定訓練を予定している。近隣住民や地域自主防災隊の協力をいただける体制が出来ている。自動通報システムを備え、食料、水等を備蓄している。ハザードマップで災害の危険区域には指定されていない。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として常に敬い、プライドを傷つけないように言葉かけに留意して接するようにしています。	理念の「目くばり・気くばり」で接し、利用者から教えて頂く事が多く、日々新鮮な気付きがある。職員は利用者との生活に楽しさを感じている。居室を訪問時、入浴時、トイレ介助の際には、プライバシーに配慮して声かけや介助を行うよう職員は心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々、ご本人の想いを伺いながら、自己決定できるような言葉かけを行うようにしています。意思表示が困難な場合には、表情等から想いを推し量ることができるような支援を心がけています。		

令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	健康な状態を維持するために必要な日課に関しては、個人毎のペースに合わない場合もありますが、無理強いせず、ご本人の意思を尊重するようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の好みを尊重しながら支援しています。3か月を目途に散髪を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自分で食事を摂ることができるような食事内容に考慮し、落ち着いて食事をする環境に配慮しています。誕生日にはご本人が希望するメニューを組み入れ楽しんでいただくようにしています。毎食時、おしぼりをセットしたり、食器拭きや片づけを職員と一緒にしています。	調理は4名のパート職員が交代で行い、誕生会や行事の献立は利用者の声を取り入れたものとしている。ホーム内にある菜園で利用者が育てた野菜を収穫し調理することで、利用者の食に対する楽しみも増えている。利用者は持参の茶碗・箸を用い、食器拭き等の後片付けや簡単な食材の準備を職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個人毎に適切な食事の摂取量や形状で提供し、水分量はチェック表を用いて必要量を確保できるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個別に声がけをすることにより、確実に口腔ケアが行えるよう支援しています。訪問歯科診療の契約の元、治療の必要があれば、ご家族様の同意を得て治療を受けていただいています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	尿意・便意の確認、チェック表の記入により失禁やおむつ使用量を減らすように取り組んでいます。	排泄チェック表でパターンを把握し、見守り、声掛け、誘導を行い、殆どの方がトイレで排泄している。布パンツ2名、他はリハビリパンツとパットを用いている。夜間居室でポータブルトイレを使う方は2名いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事内容、水分摂取量、腹部マッサージや体操を取り入れ便秘の予防に取り組んでいます。無排便が2日以上にならないように、服薬調整を行っています。		



令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JAIいわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	最低週2回は入浴していただいています。職員の都合で声がけをしてしまうことが多いのですが、その際、入りたくないという場合は、別の機会に改めて入っていただいています。就寝前の足浴のご希望には沿うことができます。	週2回の入浴を基本としながらも、毎日入浴できるように準備し、利用者の希望や体調などその方に合せた支援を行っている。浴室の脇には日本庭園を思わせるような環境を作り、それを眺めながら四季の変化を楽しみ、気持ち良く入浴されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や生活習慣を考慮し、意向に沿って休息や睡眠をとっていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診、薬の処方についての報告を全員が確認し、処方に変更があった場合には特に、職員間で情報の共有に努め、様子観察を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や意向を確認し、役割を持って張り合いのある生活を送っていただくよう努めていますが、全員其々には対応できていません。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナウイルス感染を防止する為、外出は主に近隣の散策とし、可能な時はドライブ等の支援に努めていますが、思うように実施はできていません。	例年であればホーム周辺を日常的に散歩し、季節に合わせて花見や紅葉狩りを行っていた。家族と外出して外食、墓参りや外泊される方もいた。今年はコロナ禍のため外出は近隣の散策程度と、思うように支援が出来ていないが、近隣にオープンした道の駅やコンビニに出掛けて買い物出来ればと考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	新型コロナウイルス感染防止の為、現在はご本人が行う買い物の支援はできていません。ご家族様のご希望があれば、お金をお預かりし、了承を得て必要な物を購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人が希望された場合は電話をかけた、手紙のやり取りができるよう支援しています。		

令和 2 年度

2 自己評価および外部評価結果

事業所名 : JAIわて花巻認知症対応型共同生活介護グループホームとどろき

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下やホール、各居室の温度や明るさに関しては細目にチェックし、入居者様の意向を確認しています。共用空間は季節や行事に合わせた装飾を行い、季節を感じていただけるよう取り組んでいます。掃除、洗濯を担当する職員が勤務し、常に施設内の清潔が保たれています。	広々としたホールは天井が高く開放的で、清掃も行き届き気持ち良い空間となっている。ホール脇に12畳の小上がりがあり、横になりゆっくり寛げる。ホールや廊下に大型の加湿空気清浄機があり、温度湿度が快適に保たれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール、廊下、談話室にソファを設置し自由にくつろぐことができる場所をつくっています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が入所前から使用していた馴染みの家具を持ち込んでいただいています。備え付けのベッドはご本人、ご家族様の意向を確認し、配置させていただき、なるべく居心地の良い空間になるようにしています。	馴染みの家具や椅子、衣装ケースを持ち込む方が多い。壁面には家族写真やカレンダー、手作り作品が飾られ、位牌や遺影が置かれている部屋もある。掃除が行き届いており、居心地の良い居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりができることを行うために必要な安全対策に考慮し、できることを続けて行えるよう支援しています。		